北海道内社会福祉協議会イメージキャラクター
ほっとちゃん

地域福祉のための情報誌

社協だより 幸せな社会

〔2・3ページ〕 平成29年度 事業計画・予算
〔4ページ〕 特集 くらしサポートセンターえべつ 無料職業紹介所開設

江別市ボランティア団体連絡会に昨年加入した7団体を紹介します！

合唱団えぽあ　定期演奏会や市内各種行事にも参加

夢一座　皆様の言葉に励まされて発足1年

公共施設や高齢者施設で演劇を披露しています

江別子ども演劇クラブ

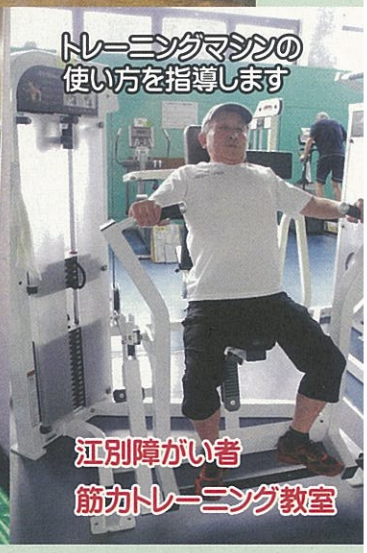
江別市の観光特使になりました「えべつ俄」ご覧ください

語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭

手作り紙芝居「なかま」　大型紙芝居でみんな楽しく

楽しくフラを踊りま～す！

プアナニ・フラサークル



トレーニングマシンの使い方を指導します

江別障がい者筋力トレーニング教室

発行　社会福祉法人 江別市社会福祉協議会
江別市錦町14番地87　江別市総合社会福祉センター内
☎ 011 - 385 - 1234　Fax　011 - 385 - 1236
ホームページ　www.ebetsu-shyakyo.jp
メール　Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp
社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2017 4月 No. 185

平成29年度 事業計画と予算

後見実施機関の運営・生活支援体制整備事業を江別市から受託

～事業推進方針～

近年、少子高齢化の進行、家庭や地域でのつながりの弱まりなどに伴い、社会的孤立や生活困窮などの生活・福祉課題への対応がこれまで以上に重要となってきています。

社協には、このような課題を受け止め、支援していくことが一層求められています。

平成29年度は、第3期地域福祉実践計画の中間年を迎えます。同時に、平成29年度から本格施行される改正社会福祉法に基づく社会福祉法人制度改革の方向に沿って、社協の運営に努めるとともに、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体など関係団体や関係機関と連携・協働し、計画を着実に推進してまいります。

また、今年度は、近年対応が急がれている日常生活上の課題に幅広く対応していくため、新たに江別市から後見実施機関の運営と生活支援体制整備事業を受託し、総合的な相談支援体制の一層の強化を図り、計画が目指す「支え愛・助け愛のまちえべつ」に向け努力してまいります。

事業計画

第3期地域福祉実践計画の基本計画ごとに主な29年度実施事業の概要を紹介します。

基本計画1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備

▼生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる総合的な相談支援体制の整備を進めます。

- (新)成年後見事業実施体制を整備、後見実施機関の運営
- (新)生活支援体制整備事業実施による生活支援・介護予防サービスの基盤整備
- くらしサポートセンターえべつ(くらサポ)の運営による生活困窮者への相談支援
- 日常生活自立支援事業による福祉サービス利用援助・金銭管理をサポート
- 貸付金活用による相談支援
- ボランティアによる日常生活上の悩みごとへの相談支援

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

▼市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりを推進します。

- ボランティアセンターの運営(ボランティアの登録・派遣・団体活動費助成・活動交通費補助・ボランティア保険の加入など)
- 江別市ボランティア団体連絡会の運営

▼高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすことを目的とした自治会の助け合い活動を支援します。

- 愛のふれあい交流事業(活動費助成・ボランティア保険料掛金助成など)

▼市民と福祉団体が交流できるイベントを開催します。

- 江別ふれあい福祉の広場の開催

▼企業・団体の地域貢献活動を支援します。

- 活動先の紹介や活動備品(テント・机・イスなど)貸出

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

▼研修事業などを通して、ボランティア活動を担う市民の育成・確保を図ります。

- ボランティア活動者研修の開催
- 傾聴ボランティアの育成(養成研修・ステップアップ研修の実施)

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

▼青少年に高齢者や障がい者と交流できる機会や活動体験のできる場を提供します。

- ワークキャンプの開催
- ハーフデイボランティアスクールの開催

29年度社協イベント情報

- スポーツレクリエーションの集い：7月15日（土）13時～　東野幌体育館
- 江別ふれあい福祉の広場：7月16日（日）10時～　福祉センター及び周辺
- 福祉団体・ボランティア団体写真展：7月16日（日）～23日（日）　福祉センターロビー

・総合的な学習の時間へ福祉体験用具（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験セットなど）の貸出や協力先紹介

▼高齢者を対象に身近な生活・健康上の話題を提供し、生きがいなどを考える機会として開催します。

・いきいきシニアスクールの開催

基本計画 5

自立した生活を支援する福祉サービスの提供

▼高齢者や障がい者が、冬期間安心して暮らせるように除雪サービスの実施と民間の除雪事業者の情報を提供します。

・福祉除雪サービスの実施
・除雪派遣サービスの実施
・えべつ雪の処理情報誌の発行

▼食事の支度が困難なひとり暮らし高齢者などへ安否確認も兼ねて夕食をお届けします。

・給食サービスの実施

▼移動が困難な障がい児者にガイドヘルパーを派遣します。

・移動支援事業所リフレえべつの運営

▼農村地域などの保育に欠ける児童の子育てを支援します。

・北光保育園（江別市都市と農村の交流センター「えみくる」に移転）**・野幌季節保育所の運営**

基本計画 6

地域に信頼される社協運営のための組織づくり

▼平成29年度の改正社会福祉法を契機とし、高い公益性が求められる社会福祉法人として、より一層組織のガバナンス強化と透明性の向上に努めます。

▼自主財源の確保や経費の効率化などにより、安定した財務運営に努めます。

▼合同部会で地域福祉実践計画が適正に推進されているかを評価します。

予算

新規の市受託事業費（生活支援体制整備事業・成年後見支援事業）計上

総予算は 2億9千6百万円

前年度との比較

予算額が増加した事業

- **生活支援体制整備事業**
  江別市から新規事業受託。生活支援コーディネーター配置経費などによる増加。
- **成年後見支援事業**
  江別市から新規事業受託。相談支援員配置経費などによる増加。

予算額が減少した事業

- **社会福祉基金運営事業／総合社会福祉センター運営事業**
  いずれも前年度実施の福祉センター改修工事が完了したことによる費用の減少。
- **給食サービス事業／福祉除雪サービス事業**
  いずれも直近の利用実績と推移を見極め、利用予定数を見直したことによる減少。

平成29年度資金収支予算書　（単位：千円）

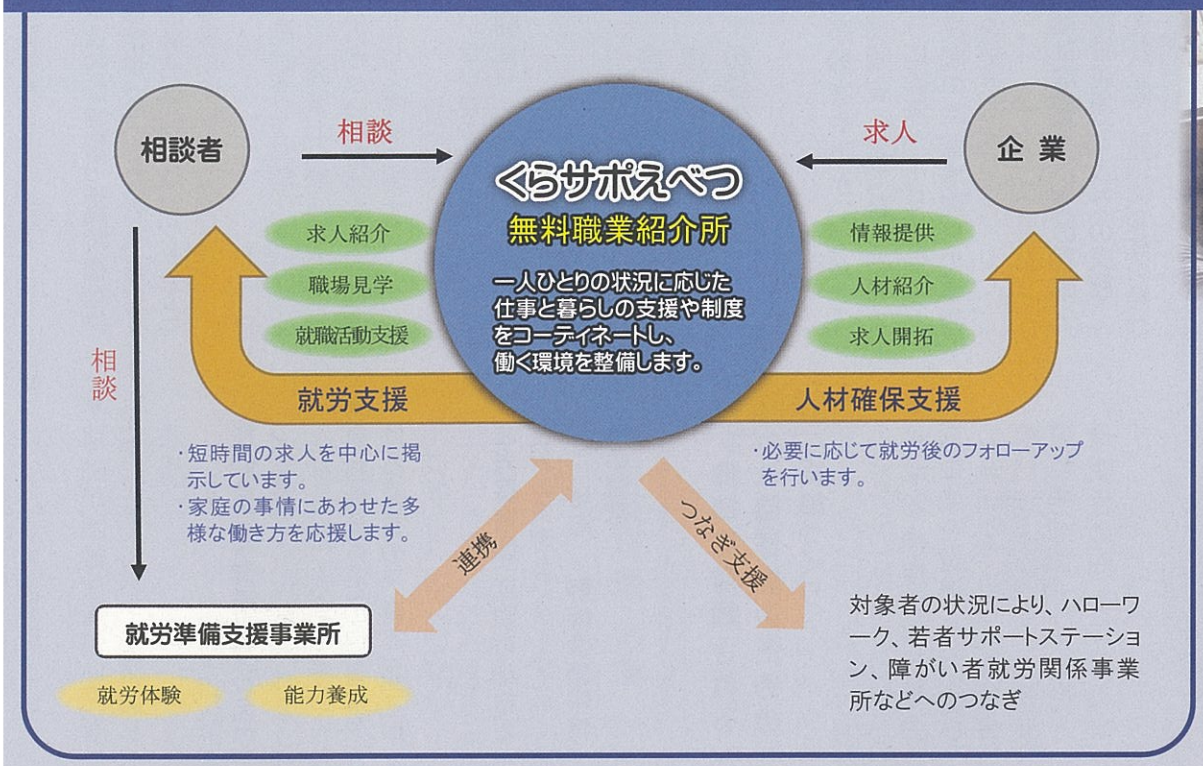
サービス区分	29年度	28年度	比較増減
法人運営事業	90,553	88,093	2,460
社会福祉基金運営事業	12,243	58,254	△ 46,011
調査・研究事業	367	494	△127
広報事業	6,042	6,059	△17
顕彰事業	138	138	0
江別ふれあい福祉の広場事業	1,298	1,316	△18
ボランティアセンター事業	6,196	6,372	△176
住民福祉推進事業	241	241	0
愛のふれあい交流事業	8,405	8,234	171
給食サービス事業	54,613	55,848	△ 1,235
福祉除雪サービス事業	29,723	30,836	△ 1,113
除雪派遣サービス事業	3,972	3,870	102
福祉機器貸与事業	484	574	△ 90
生活困窮者自立支援事業	919	917	2
生活支援体制整備事業	2,920	0	2,920
移動支援事業	5,707	5,637	70
成年後見支援事業	9,129	0	9,129
福祉サービス利用援助事業	630	690	△ 60
共同募金配分金事業	7,029	7,261	△ 232
生活福祉資金貸付事業	3,339	3,395	△ 56
福祉金庫貸付事業	6,466	6,703	△ 237
総合社会福祉センター運営事業	25,523	45,435	△ 19,912
北光保育園運営事業	25,370	24,760	610
野幌季節保育所運営事業	6,511	6,856	△ 345
内部取引相殺額	△ 11,233	△ 18,067	6,834
合　計	296,585	343,916	△ 47,331

お墓新規建立・リフォーム・移転
見えづらい文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・
追加文字彫刻・お墓のお掃除　☆お墓のことならどんなことでもお気軽にご相談下さい。
☆「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱
TEL（011）383－1232
（有）上光石材工業
本社・展示場　江別市牧場町1-21　工場　江別市工栄町21-33
安心石材店の会

紙・事務用品・オフィス家具
OA機器・学校教材
(有)サトウ
江別市高砂町10番地(市役所横)
電話㈹382-2553・FAX385-7878

復興を祈る　3月11日、江別更生保護女性会は東日本大震災被災地の復興を祈り、野幌公民館でチャリティ合唱の集いを行いました。募金活動・チャリティバザーが行われる中、地震発生時刻には参加者全員で黙とうをし、「さくらさくら」など6曲の合唱と被災者の講話を行いました。

あなたの「働きたい」をカタチにします



特集

くらしサポートセンターえべつ

無料職業紹介所開設

～相談支援は次のステップへ「就労支援」に取り組む～

相談機関の機能を活かし、企業と地域の人材をマッチング

困りごとの相談窓口、くらしサポートセンターえべつ（以下「くらサポ」）は、4月1日で開設3年目を迎えました。平成28年度は相談支援を進める次のステップとして「就労支援の充実」を目指し、本年1月1日付で「くらしサポートセンターえべつ無料職業紹介所」を開設しました。

くらサポでは、ハローワーク（職業安定所）との差別化を意図したこともあり、「仕事がなかなか決まらない」「長期間のブランクがあり就職活動に心配がある」などの相談を受理した方を対象に、職業紹介所機能を活用した就労支援を展開しています。

仕事を探している人と働く人を募集している企業の、それぞれのニーズを丁寧に聴き取り、人と仕事をマッチングさせて双方が良い結果につながるよう活動に取り組んでいきます。

市内は働き手が不足している現実

無料職業紹介所の開設準備中に多くの専門機関・企業の皆様へヒアリングを重ねて見えたことは、江別市内における「圧倒的な人手不足」という現実であり、特に建築・介護・流通・農業分野で顕著であると感じました。

人手不足の要因の一つとして、職種や経験・資格などにおける求人ニーズと求職ニーズのズレによる、いわゆる〝雇用のミスマッチ〟があげられます。

くらサポでは、求職者への就職支援だけではなく、企業の人手確保につながる展開を提案していきたいと考えており、前述の雇用のミスマッチが起きているケースでは**「業務の分解・切り出し」**《事例参照》をすることで、企業と求職者の双方にマッチした雇用を創出します。

引きこもっていた期間が長いなど、さまざまな事情から働くことが難しいと感じている方でも、短時間勤務や少しの支援があれば働ける方はたくさんいます。

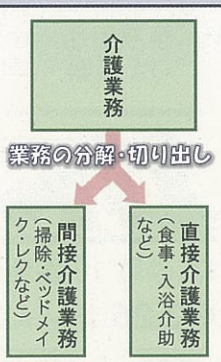
仕事について悩んでいる方、そして人手不足に悩んでいる企業の方は、くらサポへ気軽にご相談ください。一緒に解決策を考えていきます。

《業務の分解・切り出し事例》

介護業界の老人ホームの場合

介護職員が現在担っている業務内容を施設から聞き取り業務内容を分解。

介護職員として国家資格である「介護福祉士」の有資格者を募集するものの、なかなか人が集まらない。



▼専門職の人手不足を間接介護業務のみを行う短時間パートを雇用することなどで補い、現在勤務している介護職員が専門的な直接介護業務に専念できる環境をつくり、新しい働き方が期待できます。

北海道コカ・コーラボトリング

清涼飲料水のクリスマスプレゼント

北海道コカ・コーラボトリング株式会社から社協へクリスマスプレゼントとして、清涼飲料水756本を寄贈いただきました。

同社では昭和43年から地域への社会貢献活動の一環として、道内福祉施設へ製品寄贈を実施し、社協へは49年連続でクリスマスプレゼントが届けられています。

写真は、昨年12月2日、大川和則課長（右）が社協に来所され、清涼飲料水を届けていただいた場面です。

寄贈いただいた清涼飲料水は、社協を通じて市内10か所の障がい者などの福祉施設へお届けし、クリスマス会などで活用されました。

札幌信用金庫社会福祉基金

ボランティア推進に助成金贈呈

一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金から社協のボランティア事業へ10万円の助成金を贈呈いただきました。

同基金は、地域の社会福祉施設および団体などへの助成を通じて社会福祉の向上に寄与することを目的としており、社協へは15年続けて助成していただいています。

写真は、昨年12月22日、札幌信用金庫江別支店の佐藤拓也支店長（右）が社協に来所され、助成金を届けていただいた場面です。

ボランティア事業資金として大切に使わせていただきます。

札幌整備振興会江別支部
全日本ロータス同友会札幌支部

車両整備団体が車いす点検ボランティア

札幌整備振興会江別支部、全日本ロータス同友会札幌支部の2団体が実施する「車いす点検ボランティア」が、2月8日に総合社会福祉センターで行われました。

この活動は地域社会への貢献活動として、平成21年から毎年続けられています。

作業服姿の整備士の方々が、社協が所有している市民への貸出用車いす80台の空気圧、ブレーキの効き、部品の締め付けなどの細かなチェック項目を確かめながら、安全に使用できるよう整備していただきました。

地域福祉活動者研修会

自治会福祉担当者など　レクリエーション体験

社協は3月2日、自治会役員・福祉担当者の方を対象に、楽しみながら健康づくり・仲間づくりを進めるレクリエーションを学び・体験する「地域福祉活動者研修会」を総合社会福祉センターで開催しました。

講師は江別レクリエーション協会の8名の会員が務め、レクリエーション援助のポイントを説明しながら、様々なレクリエーションを紹介しました。参加者はお馴染みの音楽を使った体操や身近なものを使ったゲームを体験し、今後の地域活動の充実に役立てられることが期待されます。

江別第二小学校

リングプル集め　車いすに交換　～社協へ寄贈～

江別第一中学校

児童会・生徒会が中心となって、リングプル収集を呼びかけ、集めたリングプルと交換した車いすを「福祉に役立てて」と、社協に寄贈いただきました。

◀ 江別第二小では、校内にリングプル回収ボックスを設置し、集めたリングプル1400kgを車いす2台と交換しました。

▶ 江別第一中では、朝のあいさつ運動の際や回収ボックスを設置し、4年かけてリングプルを集めました。同校で集めたものと道内の企業・団体が集めたリングプルをあわせた690kgを車いす1台と交換しました。

相談無料

ボランティア 電話相談

悩んでいる方の良き隣人として社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聴きします。

☎ 389-7830（なやみゼロ）

相談時間　10時～15時

火 金 悩みごとテレホン相談

家庭生活の諸問題に関する相談（電話相談のみ）
- ▸㊋江別家庭生活カウンセラーグループ
- ▸㊎江別市家庭問題研究会

水 にこにこ相談室

家庭生活の諸問題に関する相談（電話相談・面談可）
- ▸江別市家庭問題研究会

木 認知症の悩みごと相談

認知症の悩みごとに関する相談（電話相談・面談可）
- ▸江別認知症の人の家族を支える会

社協では、ボランティア登録している団体の協力を得て電話相談を行っており、様々な心配ごと・不安への対応や制度の橋渡しなどを相談者にアドバイスしています。今号は、江別市家庭問題研究会「にこにこ相談室」の相談事例を紹介いたします。

生きがいがない。これからどのように生きていったら良いのかわからない。

相談

（60代後半・女性）

昨年、突然夫を亡くし、これからどのように生きていったら良いのかわからなくなりました。

生きがいが見つけられないでいます。友人もいない。趣味もない。運動も膝が悪くて出来ない。

一人息子は東京の大学を出て、関東に住み家庭を持っている。必要な時にしか連絡してこない。私としては息子に頼るつもりもない。

相談経過・結果

ご主人を亡くされ、大変辛い日々を過ごされてこられ、ご自分のこれからを考え、何か生きがいを見つけようとされているのでしょうか。

いろいろとご自身のことやご主人のことのお話を時間をかけてお聴きしました。

相談者は自分の悩みや思いを言葉に出して相談員に伝えることで、少しずつ悩みが解消されていく様子が感じられました。

相談員は、アドバイスすることだけではありません。今回のケースでは、話を聴き、一緒に考えながら相談者の心が前向きになるように支援しました。

ご案内

ボランティア活動保険

江別市社会福祉協議会では活動中の事故を補償する29年度ボランティア保険の受付を開始しています。

加入対象　ボランティア活動に取り組む個人の方々など幅広く加入の対象になります。

補償内容　活動中のボランティア自身のケガ及び他人の物を壊したりケガをさせたことによる損害賠償責任を補償します。

保険タイプ　基本タイプと天災タイプがあります。災害時のボランティア活動の場合は、天災（地震、噴火または津波）に起因するボランティア自身のケガも補償する天災タイププランが適しています。

補償期間　加入申込完了翌日から平成29年3月31日まで。

保険料　平成29年度の保険料は次の通りです。

活動保険料（1名あたり）

タイプ＼プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ	500円	710円

補償内容・補償金額はホームページ（『ふくしの保険』で検索）や社協備え付けのパンフレットでご確認ください。

医）英生会　野幌病院　JR野幌駅前　TEL382-3483

野幌病院　医療相談室	TEL	381-2643
介護老人保健施設　老健のっぽろ	TEL	381-1133
老健のっぽろ通所リハビリテーション	TEL	381-1177
指定居宅介護支援事業所　のっぽろ	TEL	381-8858
訪問看護ステーション　のっぽろ　看護科	TEL	381-7877
訪問リハビリテーション科	TEL	381-1193
英生会グループホーム　ゆめみの	TEL	391-3119
小規模多機能ホーム　ゆめみの	TEL	391-3229
江別第二地域包括支援センター（江別市委託事業）	TEL	389-5420

損害保険・生命保険代理業

商号：有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824　江別市東野幌本町19番地の1

地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日　土曜日・日曜日・祝日

0120-74-0433

愛のふれあい交流事業　社協では自治会が行う福祉の助け合い活動を応援します。【愛のふれあい活動】ひとり暮らし高齢者などへの安否確認活動に年額1万円を助成、保険料助成。【地域交流の集い活動】高齢者などのために実施する交流事業へ1事業につき1万5千円（年5回まで）を助成、交通費助成、保険料補助。詳細は、社協☎385-1234

第3期地域福祉実践計画 28年度事業の取り組みを評価しました

合同部会

無料職業紹介所開設、権利擁護事業の推進に高評価

社協合同部会では、第3期地域福祉実践計画の6基本計画・47事業の28年度の取組状況の1回目の評価を1月末日現在の実績に基づき行いました。

今回の評価では、3基本計画で4点の評価、個別事業は全て3点以上で、その内18事業が4点の評価を受け、全体的には、ほぼ予定通り推進しているとの評価を受けました。

特に、くらしサポートセンターえべつでの就労支援充実のための無料職業紹介所開設及び就労体験協力企業の開拓、市民後見人フォローアップ研修開催や日常生活自立支援事業における増加するニーズへの対応など、権利擁護に関する事業を着実に推進したことが高評価を受けました。

反面、愛のふれあい交流事業の実施自治会増加に向けた働きかけの強化、各種研修会・体験学習での参加者増加に向けた施設・学校などとの開催時期・内容の検討、社協事業活動への市民参加と協力を進めるため、会員会費制度への理解と加入促進の必要性などが課題として指摘されました。

社協の全47事業を5点満点で評価後、基本計画ごとに集計し評価しました

基本計画の主な内容	評価点
基本計画1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備（生活困窮者自立支援事業など12事業）	3
基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり（ボランティア活動の基盤整備など5事業）	4
基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進（愛のふれあい活動など5事業）	4
基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成（ワークキャンプの開催など5事業）	3
基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供（給食サービスなど7事業）	3
基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり（社会福祉基金の積立・運用など13事業）	4

【評価基準】5~4点：予定を上回り推進している、3点：予定どおり推進している、2~1点：順調に推進されなかった

善意のご寄付 ありがとうございました

平成28年12月1日～平成29年2月28日（敬称略・順不同）

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して
雉子谷恭子 200,000円、江別第二中学校第25期同期会 13,707円、匿名3件 98,400円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など
江別フォークダンスサークル 43,217円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して
江別友の会 20,000円、菅原眞知子 5,000円、匿名 20,000円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など
江別美術協会 15,400円

▼事業活動資金として
札幌信用金庫社会福祉基金 100,000円

社協会長 おじゃましました

12月 江別市おもちゃ図書館クリスマスお楽しみ会、江別聴力障害者協会・えべつ手話の会・大麻手話の会クリスマス交流会、江別市国民健康保険運営協議会、江別市高齢者クラブ連合会友愛活動員忘年会、江別市自治会連絡協議会創立50周年記念式典及び祝賀会、江別市立病院経営健全化評価委員会

1月 平成29年経済関係団体新年賀詞交歓会、大麻・文京台地区新春交礼会、江別青年会議所新年交礼会、江別市民生委員・児童委員新年交礼会、江別市国民健康保険運営協議会、江別市高齢者クラブ連合会新年交礼会、江別工業団地協同組合新年交礼会、江別更生保護女性会新年懇親会、江別市母子会新春の集い、江別市遺族会新年会、江別市芸能赤十字奉仕団新年親睦会、江別地区保護司会新年交礼会、北海道社会福祉協議会地域部会総会

2月 花のある街並みづくり講演会、社会を明るくする運動啓発活動、江別地区保護司候補者検討協議会、江別市社会福祉審議会、北海道民間社会福祉事業職員共済会理事会、江別耳の日記念集会

福祉センターからのお知らせ

開館日時

㈪曜日～㈭曜日 9時～17時
㈫～㈰曜日 9時～21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火～日曜日は、祝日も開館しています。

福祉センターの貸室申込は、使用する2か月前の月の平日初日9時から予約受付しています。

《29年度 貸室申込予約受付日》
・6月使用分▼4月3日㈪～受付
・7月使用分▼5月1日㈪～受付
・8月使用分▼6月1日㈭～受付

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します
EPA 江別印刷業協同組合
事務局 〒069-0801 江別市中央町29番地の33 ㈲アスカ印刷 内
TEL・FAX（011）389-6730

組合員			
	㈲アスカ印刷	㈲ア・ノ研究社	笹岡印刷㈱
	㈲徳田印刷	㈲トラスティプリント	㈱のっぽろ印刷
	藤塗装工業㈱	㈲山田印章印刷	㈲くらしの新聞社　賛助会員

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇（軽減）措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

えべつで活躍する個人ボランティアさんを紹介します

Iさんは人情味豊かなお人柄で麻雀仲間からも大人気です。

趣味を活かして“一緒に遊ぶ”ボランティア

「ボランティアをしたいけれど、なかなか一歩が踏み出せない」と思っている方にぜひ紹介したいのが、趣味や特技を活かしたボランティア活動です。

今回ご紹介するI さんは、70歳のときから自身の趣味を活かし、高齢者施設で麻雀ボランティアの活動をしています。

「最初は、お相手する皆さんとの会話もなく、淡々とあがりを目指していただけでしたが、何度も通ううちに会話にも花が咲き、心も通い合うようになった」「手が不自由なため自分で牌が取れなかった方が、牌を取れるようになった姿を目の当たりにし、喜びを共有できた」とボランティアのやりがいを話すIさん。

「麻雀仲間との楽しい時間を大切にしている」という活動の様子をうかがい、ボランティアは何より自分が楽しく活動できることが大切ということに気づかせてくれます。

地域の中で支え合う！自治会の福祉交流活動を紹介します　～愛のふれあい交流事業　実践事例～

「老いも、若きも、参加を」呼びかけに80名参加

大麻桜木町第二自治会

当自治会では、昨年10月29日（土）に“みんなで打ちたての新蕎麦を美味しくいただこう！”と「新そば会食交流会」を開催いたしました。

全戸分の呼びかけチラシを作り、役員を先頭に回覧と世帯毎に対面で呼びかけ、親子連れなど80名もの参加がありました。

当日は「手打ちそばを楽しむ会」講師の指導の下、蕎麦粉をフルイに掛けるところから始めました。水回しの工程では梨花ちゃんと指導員Yさんが蕎麦粉を取り合い「これ梨花の！いや、おじさんの！」と楽しそうなやり取り見て、お母さんやお婆ちゃんも笑顔に。「そば稲荷寿司」作りに挑戦した桜ちゃんは小さな手で稲荷に具材を乗せて楽しそうに作っていました。

悪戦苦闘しながらも最後の蕎麦切りを終え、全員何とか思い思いの蕎麦を作ることが出来ました。

そうこうしている内に会食会の時間を迎え、打ちたての「ざるそば」とみんなで作った「稲荷寿司」がふるまわれ、参加者は和やかに会話を交わしながら、蕎麦に舌づつみを打ち、「最高に美味しかったよ！」と会場には満面の笑顔の花が咲いていました。

今回の企画に対して、「愛のふれあい交流事業」の助成に感謝、感謝。役員会ではこの取組みを来年度に繋げて行きたいと思っています。

会長　山田　雅典

編集後記

今季の冬は、昨年12月に大雪に見舞われましたが、それ以降寒さは厳しいものの、早く春が訪れたように感じています。

さて、今号は平成29年度の事業計画と予算の概要を掲載し、新たに2つの整備事業を市から受託して、総合的な相談支援体制が整備されると共に、くらサポからは「無料職業紹介所」開設が紹介され、より≪幸せな社会≫に向けた取り組みが掲載されています。

また、表紙にも紹介されたように、これからも多くのボランティアの方々による「支え愛・助け愛」のもと、活動の様子など幅広く、かつ読みやすいようにと毎号考えながら情報をお届けしていきたいと思いますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

広報編集委員会委員　森田　弘之

赤い羽根共同募金は、社協だよりにも役立てられています